



# きらめく



熊本支援学校長だより R4. 3月号

令和3年度も終わりとなります。この1年間、保護者の皆さま、地域の皆さまには、本校教育にご支援とご協力をいただき感謝申し上げます。今年度も新型コロナウイルス感染症への対応の1年で、さまざまな制限がありながらの学校生活でした。しかし、子どもたちは、校訓にあるように「明るく、仲よく、元気よく」過ごしたと思います。この1年間の成長を見ると、素晴らしいものがあります。始業式では、常に「あいさつ」をお願いしました。登校時、下校時だけでなく、廊下で会ったときも、それぞれのやり方で「あいさつ」があり、いつも元気をもらっていました。

3月4日(金)に高等部、3月11日(金)に小学部、中学部の卒業式を行いました。昨年度と同様に、来賓の方や教育委員会の方の参加はなく、在校生はリモートでの参加でした。卒業証書を卒業生一人一人に渡しましたが、りっぱに受け取る姿に感動しました。少し涙ぐんでしまい、卒業証書の名前を読むのに苦勞しました。卒業後はそれぞれの道へ進むこととなります。自分のよさを発揮して頑張ってください。

熊本支援学校での学びは、これからの生活にとって大切なことばかりだと思います。人生からすると学校生活は短いですが、それが土台となり、次の成長につながっていきます。在校生には、学校での一日一日を大切に過ごしてほしいです。

私は、定年となり熊本支援学校を去ることになります。この3年間、素晴らしい出会いがあり、子どもたちから多くのことを学ばせてもらいました。また、保護者の皆さまの言葉に何度も励まされました。本当に感謝申し上げます。

熊本支援学校は、令和5年度に50周年を迎え、令和8年度に小学部中学部だけの学校となります。また、長寿命化プランによる校舎の改築も予定されています。これまでの伝統を大切にしながら、新たな熊本支援学校としてのスタートを切ることになります。熊本支援学校のますますの発展を祈念しています。

熊本県教育広報誌「ばとん・ぱす」(vol.63)が発行されています。「熊本の学び」の推進、道徳教育研究推進校の研究発表会等の紹介、くまもとICTコンテストの結果などの記事があります。ぜひご覧ください。



<https://www.pref.kumamoto.jp/site/kyouiku/127828.html>

